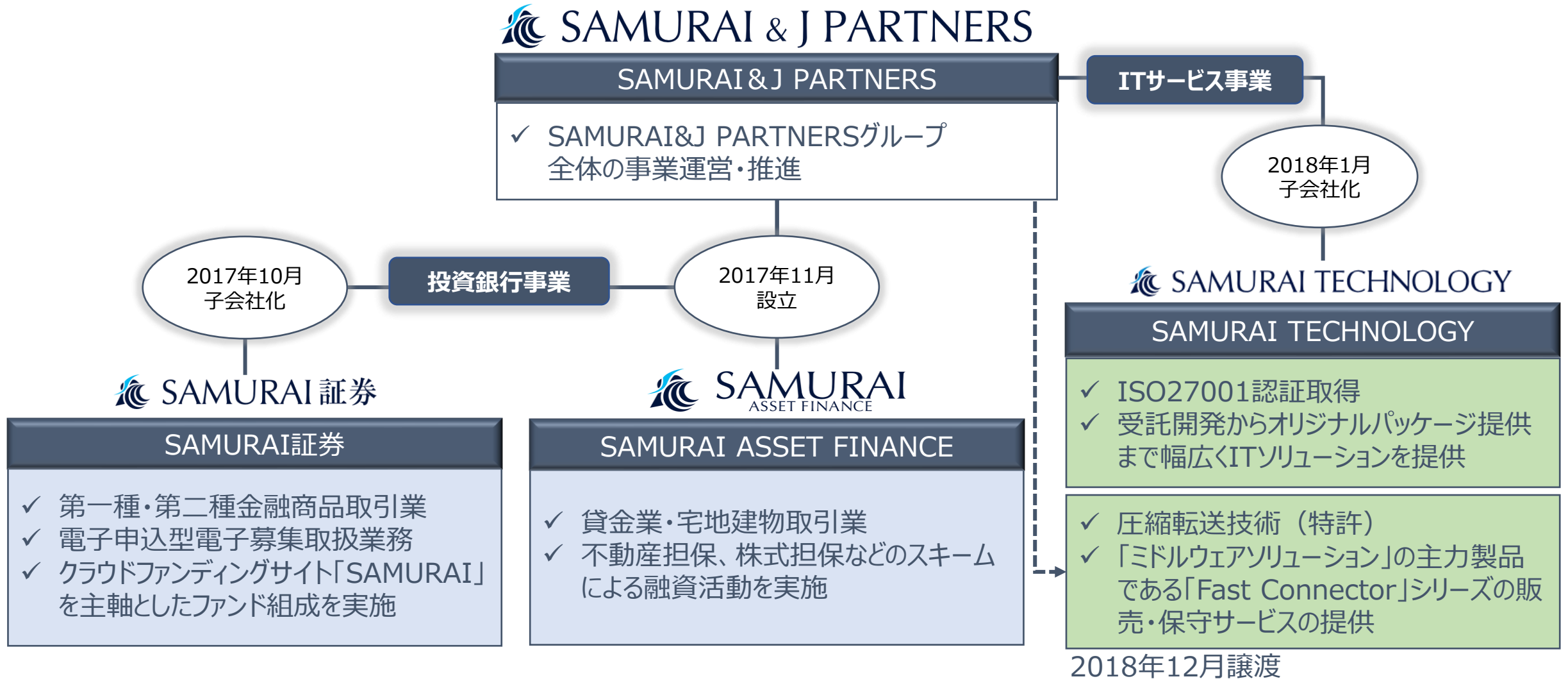


<第3四半期>
決算補足説明資料
2019年12月期

<JASDAQグロース 証券コード：4764>

2019年12月12日
SAMURAI&J PARTNERS株式会社

専門領域に特化したグループ体制



連結業績サマリー（四半期別）

（単位：百万円未満切り捨て）

	1Q	2Q	3Q	累計
売上高	141	128	497	767
営業利益	△22	△365	176	△211

- ✓ 2019年12月期3Q（2019年8月1日～2019年10月31日）の売上高は**497百万円と大幅に増収**。主な要因は、投資銀行事業の投資銀行分野が大きく貢献したことによるもの。
- ✓ 売上高の増加に伴い、営業利益は**176百万円と大幅に増益**。主な要因は、投資銀行分野における新株予約権の売却やアドバイザー契約の初回報酬によるものであり、これまでの先行投資が実績に繋がった結果となる。

セグメント別業績-投資銀行事業

(単位：百万円未満切り捨て)

	1Q	2Q	3Q	累計
売上高	64	72	437	574
営業利益	8	△320	213	△98

- ✓ 2019年12月期3Q累計期間における投資銀行事業の業績は、3Qに投資銀行分野が貢献したことにより、売上高は**574百万円**、営業損失**△98百万円**。
- ✓ **3Qにおける増収増益**の主な要因は、営業投資有価証券の売却額（249百万円）及びアドバイザー契約の初回報酬（150百万円）によるもの。
- ✓ しかしながら、2Qに発生した融資先の返済遅延による貸倒引当金繰入額（241百万円）やクラウドファンディング分野の成長に向けた先行投資により営業損失を計上。

セグメント別業績-ITサービス事業

(単位：百万円未満切り捨て)

	1Q	2Q	3Q	累計
売上高	77	56	59	192
営業利益	33	8	17	59

- ✓ 2019年12月期3Q累計期間におけるITサービス事業の業績は、売上高は**192百万円**、営業利益**59百万円**と堅調に推移。
- ✓ ITサービス事業においても増収増益となり、その主な要因は、「ミドルウェアソリューション」における大手自動車メーカーの大型受注や、「システム開発ソリューション」における新元号対応、消費税率変更予定における特需の発生によるもの。
- ✓ なお、引き続き、顧客への要望に柔軟に対応できる組織体制を構築中。

連結業績サマリー（対前年同期比）



SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円未満切り捨て）

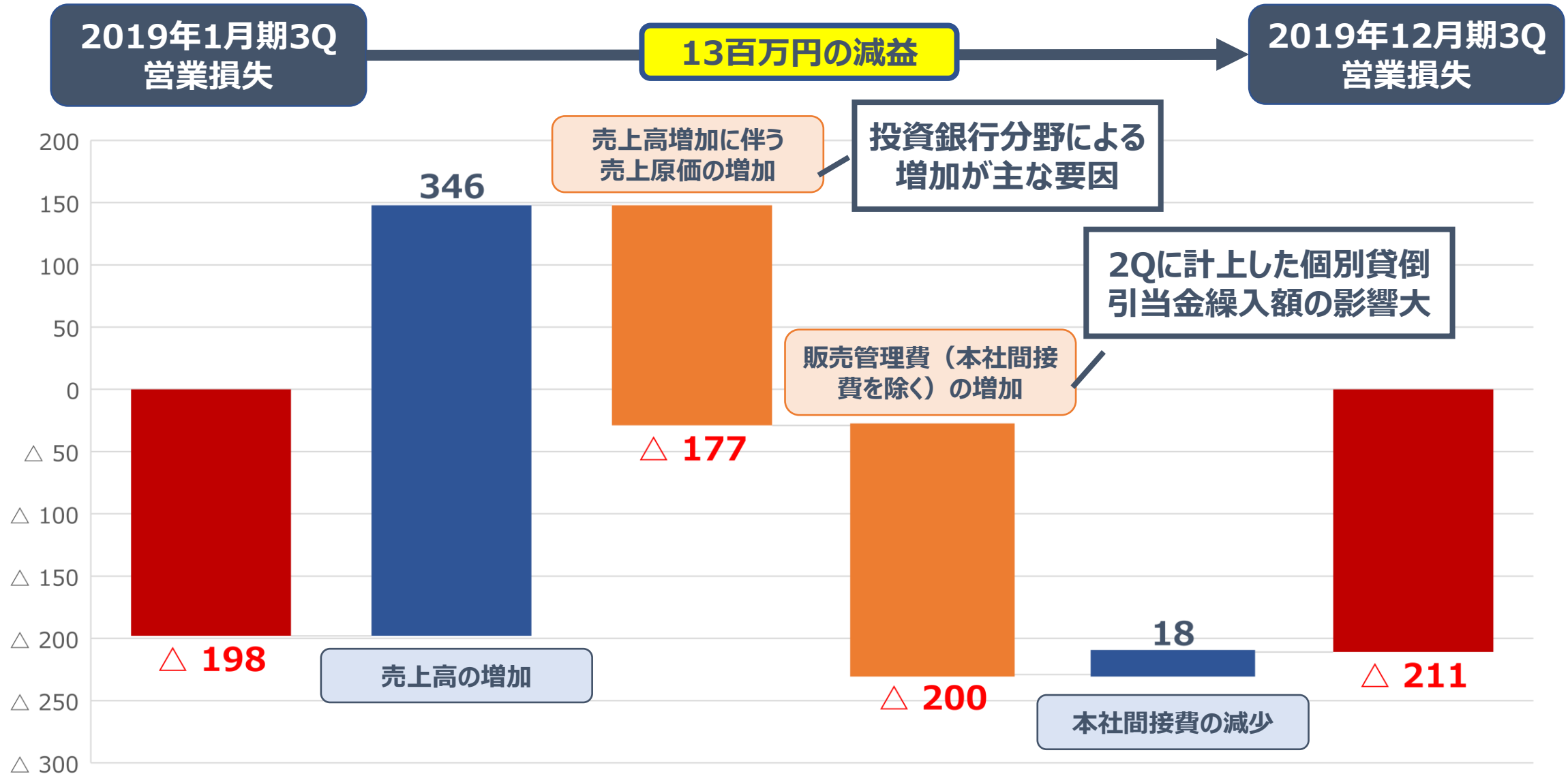
	2019年1月期 3Q	2019年12月期 3Q（※）	前年同期比 増減額
売上高	420	767	+346
営業損失（△）	△198	△211	△13

- ✓ 2019年12月期3Q累計売上高は、**767百万円**（前年同期比182.4%）となり、**346百万円の増収**。主な要因は、3Qにおける営業投資有価証券の売却額（249百万円）及びアドバイザー契約の初回報酬（150百万円）の影響大。
- ✓ 2019年12月期3Q累計営業損失は、△211百万円となり、13百万円の減収となるが、主な要因は、2Qに発生した融資先の返済遅延による貸倒引当金繰入額（241百万円）の影響大。

（※）当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しております。

営業利益増減分析-対前年同期比

(単位：百万円)



本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ : https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/